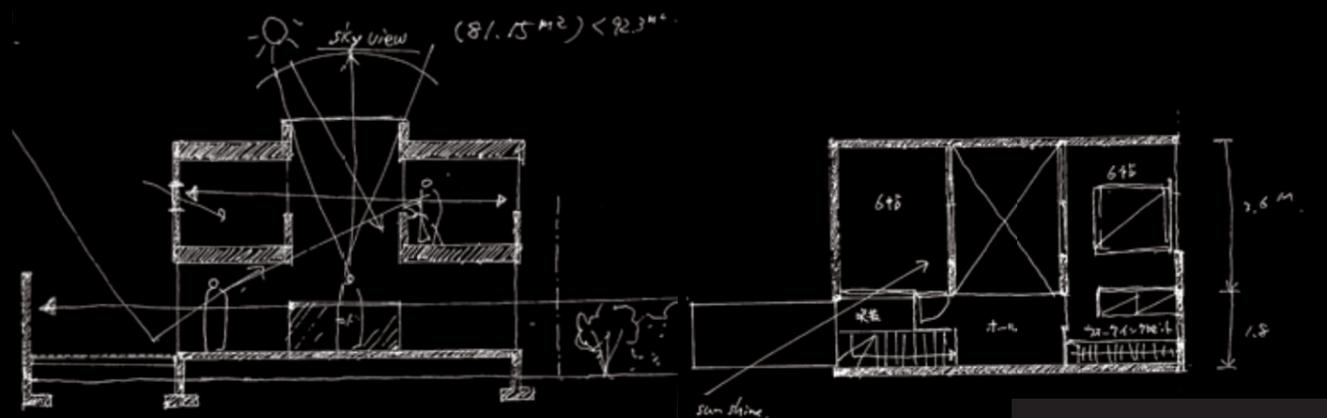
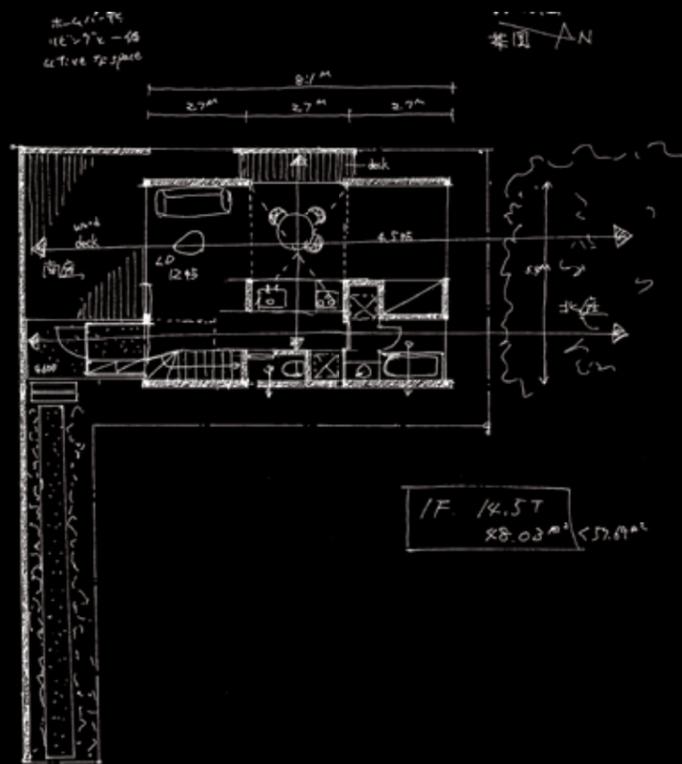
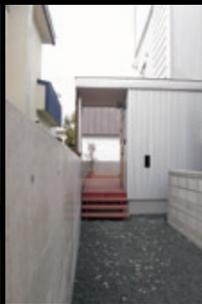


# 才気あふれる 若手建築家と創る家

※住宅雑誌「Replan」71号より抜粋。

Vol. 1



**落ち着きと開放感の  
丁度いいバランス**

今回、脇坂工務店とコラボレーションをした建築家・鈴木理さんが新築の設計依頼を受けたOさんの敷地は、道路から奥まった旗竿形状で、四方を隣接する建物で囲まれている。設計は、この一見、不利にさえ見える敷地条件のもと、くらしの背景となる居心地の良い器をいかに作り出せるか、ということを中心に進められた。

コンセプトは、限られた敷地にあって豊かな住空間を生み出す「3つの庭」をつくること。その一つが、陽当たりの良い「南庭」。ホームパーティなどができるようウッドデッキを設けた、リビング・ダイニングとも一体となるアクティブで開放的なスペースである。2つ目の「北庭」は、実は北隣にある手入れの行き届いた両親宅の庭。北側に設けた和室からあえて借景すること。南の光を受けて輝く庭の眺めを落着いて存分に楽しめる。そして3つ目。そこは、建物内の中心部にたった2層の吹き抜けにより上部を開放させた「光庭」。天窓から外光がそそぎ、見上げれば空が見え、2階の個室にも面した、上下空間を立体的になくスペースでもある。

O邸は、これらの庭と内部空間が相互に関わって、落ち着きと開放感のバランスが丁度よい住空間をつくり出している。

決して好条件とはいえない敷地の特徴を見事に生かして、この場所であることは成し得なかったであろう魅力的な住まいが完成した。